第69 号　　Newsletter 2021. 7.15

香芝市国際交流市民の会

グローバル香芝

The International Exchange Society, Global Kashiba

あの留学生は今㉜……　　ベトナム　チャウ さん

ベトナムから来たチャウと申します。2016 年から 2017 年にかけて大阪教育大学に留学しました。色々な物事を勉強しました。生活・アカデミック日本語応用練習をしただけではなく、独身の生活を体験しました。1 年間のグローバル香芝の皆さんの助けを忘れません。心より感謝します。
帰国した後、観察のように、日本語を勉強するベトナム人が多くなっています。
日本語を教えなければ、日本語を勉強する人のお願いを叶えてあげられないと思いました。それで、日本の会社に応募してみました。最初の目標は、日本の企業で社内体験し、その体験を通じて、日本語を勉強して日本に応募したい学生たちにアドバイスをしてあげて、手伝う希望があります。日本での 1 年間の体験のお陰で、JTB 旅行会社のベトナム支店のトラベルオペレーターとしての仕事を受け入れました。一方、ガイドになり、ベトナム・日本文化をシェアしています。また、会社の経営計画を作成することなどにも参加して、色々な物事を勉強しました。1 年間働いた後、両国の会社設立システムについて、沢山の法律の違いに気が付きました。法律を理解しなければ、外国人に説明することは複雑です。それで、働いている会社だけではなく、ベトナムに投資する予定がある会社の法的解決ができるように、法律大学に入学することを決めました。両国法律を研究すると、面白い事がわかります。　現在、世界の新型コロナの状況はまだ改善されていないようです。ベトナム国内は安全のようですが、ビジネス・トラベルなどは大変です。楽観的に考えれば、それもチャンスです。

ベトナムビジネスに注目して、投資する計画のある日本企業が多くなっています。それで、今年の目標は法律大学を卒業すると、直ぐに弁護士になるための勉強をする予定です。ベトナム弁護士になると、沢山の会社を助けられると思います。
ベトナム大使になる夢は子供の頃から変わりません。現在、色々な知識を身につけることが私にとって一番大切なことです。どんな環境でも楽観的に生活できます。明るい未来に向け！勉強するだけでなく、自分のオンライン販売も進め、貯金しますので、コロナの状況が終わったら、是非日本に戻って、大阪教育大学の先生とグローバル香芝の皆さんを訪れたいです。

（レ・ゴック・バオ・チャウ）

香芝市在住外国人数：　30ヶ国　590名　　**2021年5月31日現在**

アメリカ：11、アルゼンチン：1、イギリス：5、インド：2、インドネシア：9、オーストラリア：1、オランダ：1、カナダ：3、韓国：208、コスタリカ：1、シンガポール：1、スウェーデン：1、スリランカ：1、タイ：10、台湾：15、中国：87、朝鮮：5、トルコ：1、ネパール：16、パキスタン：9、ブラジル：15、フィリピン：37、フィンランド：1、フランス：2、ブルガリア：6、ベトナム：123、ペルー：2、ミャンマー：13、ルーマニア：2、ロシア：1

◇懐かしき第二の故郷・ラテンアメリカの思い出　　則松武夫

【初めての海外生活（1年）：メキシコ】

入社以来、海外勤務を希望し、海外要員だったため、英語を勉強していましたが、ある日突然、メキシコに行きスペイン語を勉強してくるよう本社から言われ、会社生活10年目で、日墨交換留学生の一人として、約1年間のメキシコシティーでの単身生活が始まりました。

出発前に100時間のスペイン語の特訓を受けたものの、ホームステイ先の家族の人達との会話は当初ほとんど成り立たず、特に食事時は今流行りの黙食で、他の人が食べ終わるのをただひたすら、笑顔は忘れず、待ったものでした。メキシコではいろいろ経験しました。3人組の強盗に襲われたり、スリに財布を取られたり、今では懐かしい思い出ですが、海外生活での貴重なノウハウの一つになっ
のも事実です。また、各学期の合間に1週間程度の休みが年に3，4度あり、メキシコ中を旅行したことも良い思い出になりました。

【初めての海外出向（3年半）：アルゼンチン　フエゴ島】

メキシコから帰国して、1年半が過ぎた頃、アルゼンチンのフエゴ島に新設されたテレビと音響機器を作る会社に出向を命じられました。当時はネット検索などできる時代ではなく、ほとんど現地の情報がない状態で、夏のフエゴ島リオグランデ市に単身赴任しました。

夏真っ盛りの1月、この時期は毎日の様に風速30m前後の冷たい南風が吹き荒れ、飛行機のタラップから降りる際、よろけながら降りたことを今でも覚えています。また、赴任当時、町には信号機が1つ、街灯もほとんどない真っ暗な町で、正に地の果てと言った感じでした。

普通、世界中どこに行っても見かける中華料理店もここにはなく、東洋人や日本人は我々5名の駐在員のみで、どこに行っても物珍しそうにジロジロ見られたり、こちらを見ながら、ひそひそ話をしているようで、着任当初は
なんとなく居心地の悪さを感じたものでした。当時のアルゼンチンは経済危機の真っ只中で、驚異的なハイパーインフレ状態でした
最もひどい時はひと月のインフレ率が100％（1か月で値段が倍）になり、紙幣不足で、銀行が2，3日臨時休業する事態も発生しま
した。この年の年間インフレ率は実に1年で物の値段が10倍以上になる、1，000％を超える勢いで、日本では後にも先にも絶対経
験できないような貴重な体験をさせてもらいました。また、フエゴ島の南には南極ツアー基地として最近では日本の旅行誌にも載っ
いる美しい町、ウスアイア市があります。

【3度目の中南米（5年半）：中米3カ国（コスタリカ・グァテマラ・エルサルバドル）】

ここでの勤務は変則スタイルでした。住んでいた町は家族と共に米国のマイアミで、私は毎月10日くらいかけて中米の3か国を訪問し、現地従業員のみのオペレーションを点検していました。なぜ、このような経営スタイルになったかと言うと、1980年代中米各地で身代金目当ての日本人誘拐事件が頻発しており、その当時、会社の先輩社員がコスタリカで誘拐され、警察との銃撃戦の犠牲になったことでした。その後、日本人駐在員は現地を引き払い事務所をマイアミに設立し、当時は日本人は現地に行かず、3社から現地人幹部を呼んで確認していました。私が駐在していた時代、当初はコスタリカ、グァテマラには出張し、エル・サルバドルからは現地人幹部を呼び寄せていました。その後、エル・サルバドルにも出張できるようになりました。ただ、ここだけは昼食で街に出る時、前後左右を現地人社員が歩き、私はその真ん中を、常に周囲を気にしながら歩くという状態でした。

子供達はマイアミの現地校（中・高）で、英語に苦戦しながら無事卒業。一方、家内は約5年半のマイアミ生活を満喫したようです。中南米での通算10年間は苦労も数多くありましたが、実り多い貴重な体験をさせてもらった思っています。最近の若い人たちは苦労の多い海外勤務を敬遠する傾向にあると言われており、残念に思う次第です。

◇コロナ禍での思い

コロナ禍の中、2020年4月よりグローバル香芝代表を引き受けたものの、当会主催の行事も対面での開催が出来ないため、一部
ネットを使ったリモート開催を除き、全て中止となりました。今年も引続きコロナ禍は厳しい状況ですが、会員諸氏の英知を集め工夫
凝らした行事の開催を目指し、外国人と地域住民の共生を推進すべく、力強く元気に活動していきたいと思います。（則松）

留学生宅訪問記

平岩暉国

5 月 28 日会員 3 名と一緒に元白鳳短大の 2008 年卒業生であるスリランカ出身の亀谷ウダーラさん宅を訪問しました。お宅は近鉄飛鳥駅西 5 分ほどの所にあり、純和風の豪邸で、立派な応接に通されました。贅を尽くした家作でびっくりしました。

聴けば、前の持ち主は農業での後継者がないため、農業従事者限定で譲渡を決めておられ、それが運良く亀谷さんに格安で譲渡されたそうです。現在この大きな家には公務員のご主人と小学校 5 年の坊ちゃんと 3 人で暮らしておられます。

女は白鳳短大卒業後 2 つの大学で勉学されました。ボランティアで知り合ったご主人とご婚、日本名「亀谷（かめたに） 宇陀亜良（ウダーラ）」さんとなりました。その後、ヤクルトレディーや翻訳・通訳など経験した後、農業女子制度を知り果敢に挑戦し、奈良県農業大学校（現 なら食と農の魅力造国際大学校 NAFIC）で学んだ後、苦節4年、現在明日香でTurtle Feet Farm のオーナーとして農園を経営され,アスパラガスハウス栽培、ロメインレタス・ブロッコリーなどの露地栽培を手がけ毎日多忙な日々を送っておられます。

の日はたまたま親戚にご不幸があり、取り込み中で 2-3 時間の余裕しかなく、弁当を食べながら懐かしい話、スリランカと農業女子としての苦労話、日本の葬儀の風習の相違などを聴きました。昨年末には最愛の母国のお母さんを亡くされましたが、コロナ禍で帰国もきず悲しい心の内も聞きしました。

昼食後は忙しい中、現場見学ということで、アスパラガスの栽培の見学、ロメインレタスの栽培現場を見せて頂きました。現地は自宅から高松塚・雷・奥山バス停を通り山間の耕地に 10 分ほどで到着。現在は大きな畑を 3 枚借りておられ一番奥にハウスが 2 棟でアスパラガスを約 2500 本程栽培されております。この時期アスパラの収穫は中止して、主茎を生長させ来年の太い根茎作りに専念されています。約 2m程伸びたアスパラが青々しています。6 月の後半になるとまた生えてくるアスパラ茎の収穫が出来ます。今回は脇から出ている余分なアスパラを収穫して下さり、おすそ分けを頂戴しました。

まん中の畑は現在「ツルムラサキを栽培中で間もなく収穫期になります。最後の畑はロメインタスを栽培収穫期であるが長雨で葉に痛みが出てきて、まもなく収穫も終わりです大きなロメインレタスも同行の主婦達は喜んで頂き、残惜しみながら帰路につきました。

農業女子について： 2013 年に農水省が始めた農業女子プロジェクトに参加している女性を農業女子と称されています。現在約 850 ほどおられます。しかし、殆どが農家の子女、あるいは農家に嫁いだ女性が殆どです。ウダーラさんのような外国人で、しかもご主人公務員で全く素人から農業を始められ、僅か 3-4 年で大成功を収めておられますが、その努力には並々ならぬものがあったはずです。るい性格の彼女は苦労もものともせず頑張っておられます。

明日香村の人気者： 彼女は農業女子として独り立ちするため、農業の専門家、所の農家の皆さんから助言を真摯に受け止め、ノウハウを会得し現在に及んでます。持ち前の明るさ・物怖じしない性格から明日香村の人気者です。

た、テレビや新聞でも時々登場されています。先月もテレビ東京の“youは何しに本へ”という番組にも登場されました。

た、インターンシップも行っておられ、内外の若者の農業体験による農業女子の成にも努力されています。

最後に、白鳳短大でボランティアとして出会った私達、その後も日本で頑張るウダーラさんの心の拠り所として絆を深めていければとっています。（平岩）

ーメンバーひとりごと　69ー

コロナ禍でのグローバル香芝の活動と私の思い

島井久枝

　コロナ禍の猛威により、活動を控えねばならなくなり寂しい限りでしたが少しずつは活動を再開されているようで早くもとの元気なグローバル香芝になるといいですね。
今まで日本語を支援した留学生は早５人ほどになりますが、こちらも論文の内容の勤勉さを教えていただき、休みの日の話題を映画「天気の子」や日本のドラマの好きな俳優さん山崎賢人君、スーパーでお買い物など親しみがあります。
　今はもう帰国なされて現地で活躍なされていると聞いています。将来が楽しみですね。
定例会がリモートであるなど時代は進化して、ついて行かないと、と思いはしても慣れるまで大変でしょうか。ボタンの操作はすぐ理解できるかな。ぬくもりはどちらもあるとは思いますが、月一回の定例会はフェイストゥフェイスがいいですね。
　　焼き鳥の皮は塩がおいしい。

【編集後記】

・コロナ禍のため、昨年２月より当会の行事が例会以外は全く行われていません。その例会も途中からオンラインとなり、なかなか参加も出来ない方も多く、天災とはいえ非常に残念です。

・そんな中ですが、広報部ではニュースレターの発行を続けられ、今般６９号を発刊することが出来ました。これもひとえに寄稿者の皆様の暖かいご誠意と、会員の皆様のご支援のお陰と心より感謝しています。

・一方コロナ禍の状況ですが、非常事態宣言が幾度も出たり厳しい状況が続き、皆様には自粛生活が本当に長いこと続いてきました。しかし、５月からは高齢者からワクチン接種が急速に進み、既に接種済みの方もおられることと思います。高齢者は７月中には終わり、続いて若い人にも接種機会が訪れ、新型コロナ感染者は急速に減少するのでは、と期待しております。当会でも、下期には例会も対面で、また各種行事も挙行可能となり、皆様とお会いして交流の輪が広げられるのではないか、と楽しみにしています。（A.H）

◆◆　“グローバル香芝”　入会のご案内　◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。
語学力や国籍に関係なく、どなたでも入会することができます。

〈会　費〉　個人会員　年間　3,000 円 ／ 賛助会員（団体）　年間　10,000 円

〈月例会〉　日　時：毎月第三水曜日(8/18、9/15、10/20、11/17、12/15)　10:00～12:00
　　場　所：香芝市中央公民館

◆申し込み・問い合わせ先

・香芝市役所　市民協働課：（☎：0745-44-3314，Fax：0745-78-3830）

・グローバル香芝：則松　武夫（☎：0745-77-0968）または小椋　宏子（☎：0745-78-3398）　までお気軽にどうぞ！

◆ホームページアドレス　https://global-kashiba.mahoroba.club/

編集発行　：　グローバル香芝　広報部
連 絡 先　：　〒639-0292　香芝市本町 1397　香芝市役所　市民協働課
電　　話　：　0745-44-3314　Fax：0745-78-3830